

7月3日(月) オープン

# あらかわ病児保育センター



●問い合わせ  
福祉課子育て支援室  
☎53-3362 (直通)

## 病児保育センターってどんな施設？

子どもの具合が悪いけど、仕事が休めない。周りにお願いでいる人がいない...、どうしよう。

こんな時に利用できるのが「あらかわ病児保育センター」です。

病気の子どもや病気が治りかけの子どもを、保育士と看護師が温かく、安全にお預かりして、お父さん、お母さんの子育てと仕事の両立を支援します。

○定員

1日 4人

※異なる感染症の児童の利用希望の場合、お断りすることもあります

○料金

1人 千円

※生活保護世帯は無料、ひとり親家庭等医療費助成受給世帯は半額

### ○利用

村上市下鍛冶屋583番3  
(県立坂町病院敷地内)

### ○利用できる日時

月曜日～金曜日

午前8時～午後6時

※祝日、年末年始(12月29日～1月3日)を除く

### ○対象者

生後6か月～小学3年生で、次の要件をすべて満たす子ども

- ①村上市または関川村に住所がある
- ②仕事の都合などで、家庭での保育が難しい
- ③病気がかかっているか、病気の回復期のため、通園や通学が難しい

子どもが病気のときなどに、どうしても仕事が出来ないお父さんやお母さんにとっては、頼もしい施設ですね。



小池<sup>のぶこ</sup>展子さん、<sup>よしみ</sup>淑美ちゃん(1歳6か月)  
(塩町)

# 病児保育センターの利用方法は？

## 事前の手続き

### 事前の登録が必要です

利用登録届出書に必要事項を記入の上、あらかじめ病児保育センター、村上市福祉課、各支所地域振興課、関川村住民福祉課のいずれかに提出してください。

※利用登録届出書の用紙は提出先のほかに、各保育園、各子育て支援センターなどにあります。また、市ホームページからもダウンロードできます。

## 利用の手続き

### ① 仮予約

「あらかじめ病児保育センター」に電話で空き状況を確認します。

### ② 医師に受診

医療機関を受診し、「利用連絡票」を発行してもらいます。

※発行手数料は保護者負担です。

### ③ 利用

利用する日に「利用連絡票」と必要なものを持って、あらかじめ病児保育センターへ行き、「利用申請書」を提出します。一緒に使用料を支払います。

※「利用連絡票」は、当日または前日に発行されたものを提出してください。

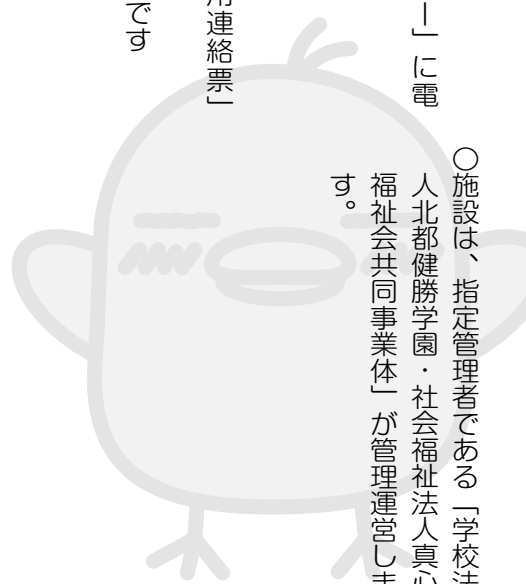
### 【持ち物】

薬、昼食、おやつ、ミルク、ほ乳ビン、着替え、おむつ、ポリ袋など

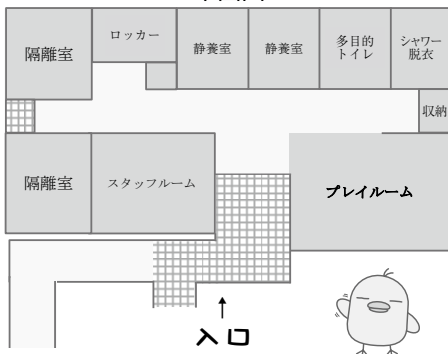
## 利用にあたって

○症状が悪化した場合、保護者に迎えに来てもらう場合があります。

○施設は、指定管理者である「学校法人北都健勝学園・社会福祉法人真心福祉会共同事業体」が管理運営します。

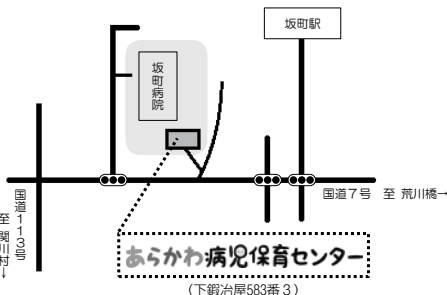


平面図



## 内覧会を開催します

**とき** 6月24日(土)  
午前10時～午後3時  
**ところ** あらかわ病児保育センター  
(県立坂町病院敷地内)  
**その他** 直接会場にお越しください。



## インタビュー



的場巳知子 さん

管理運営を行う共同事業体の代表である学校法人北都健勝学園理事長の的場巳知子さんに、お話を聞きました

### はじめに

「私自身働きながら子育てをした経験があり、子どもが病気になった時の大変さを身にしみて感じ、認証保育園の運営に携わってきました。今回、村上市で初めて病児保育を始めるにあたり、ぜひ、やらせて頂きたいと思いました」

### 運営にあたって

「北都健勝学園の医師や看護師などによる専門的助言が可能であり、保護者へのメンタルサポートやアドバイスも行えると考えております。利用者様の立場に立って、不安なく預けることができるように、運営して参りたいと思います」

### 保護者に一言

「保育士だけでなく、専門的な知識を持つ看護師も常駐しておりますので、薬を飲ませたり、小さな変化にも気づくことができます。病気のお子さまに対して、自宅にいるような雰囲気の中で接していきたいと考えています。安心して預けていただけるよう努力して参ります」